

令和6年1月31日発行

第119号

編集

山本学区社会福祉協議会

広報委員会

☎874-8218

# 社協 やまもと

## 本号の紙面

- 1 地域に開かれた保育園を目指して
- 2 新年のごあいさつ、春日野入口事故対策
- 3 広島型地域運営組織ひろしまLMO

- 4 復活した地域の諸行事  
敬老フェスティバル、町民運動会、盆踊り大会
- 5 ドッチビー大会、自主防災アプリ、

- 活動拠点活性化事業
- 6 ふれあい運動会、全国民生委員  
児童委員大会、表彰・受章、御礼

### 地域に開かれた 保育園を目指して

広島市立山本保育園

園長 金丸 貴美



だき、心より感謝申し上げます。

自園には、0歳から6歳までの園児が135名在園しております。

山本保育園保育方針の中に、「安心安全な環境の中で、自ら考える力を大切に、一人一人の個性や発達に応じた保育を行う。」とあります。日々の保育園生活の中で、子どもたちは何かを感じ取りながら、心も体も着実に成長しています。大人や友達との関係であったり、遊びの中での発見であったり…。それを保育士に言葉や眼差し、しぐさなどで伝えてきます。私たち保育士はそれらをしっかりと温かく受けとめ認めながら、自己肯定感を育み、子ども一人一人の成長に繋がっています。

また、「子どもを中心に据え、家族や地域とつながり、共に育てる土台を築く。」ともあります。昨年5月に新型コロナウイルス感染症の規制が緩和されたことにより、地域の方々

には折に触れて園の方へ足を運んでいただいております。



昨年11月は、焼き芋パーティーにお招きしました。園で収穫した芋を焼いて、子どもたちと食べ、少しの時間でしたが、つながりもできました。

運動会前には、表現や運動あそびを見ていただいたり、子どもたちとの大玉転がしも楽しんでいただきました。

こうして徐々に、地域の方々とのつながりが戻ってきていること、地域に開かれた保育園となってきたことを実感し、嬉しく思っております。

それと共に、地域の未就園児親子の方を対象に「きんさいみんなの保育園事業」も年間を通して行っております。予約制で日時は限られておりますが、土曜日もサタデー広場として行っておりますので、是非、親子で保育園の方へ遊びにいらしてください。

令和5年4月1日には、「こども基本法」が施行され、「こどもまんなか社会」の実現を目指して、子ども家庭庁が創設されました。これまで大人が

中心になっていた国や社会のあり方を、子どもを真ん中に据え、「こどもファースト」で考える社会に変えていくというものです。根底には、「すべての子どもの基本的人権を守ること」とつまり、子どもの権利を大切にすることということは、自分だけでなく友達や周りの人たちの権利も大切にすることということにも繋がっていきます。

保育園や子ども、子育て世帯を取り巻く状況は、今、大きな転換期を迎えています。

少子高齢化の社会情勢の中で、山本地区は人口増の著しい地域です。それに伴い、保育を必要とする子どもも増えている状況です。

そうしたことを踏まえながら、保育園では日々、可愛い子どもたちの成長を見守り育んでおります。子どもたちの未来への可能性を広げていくために、引き続き、地域の方々のお力添えをよろしくお願い申し上げます。



# 新年のごあいさつ

山本学区社会福祉協議会

会長 小堀 昭 男



■はじめに  
皆様、あけましておめでとうございます。  
います。

会長になって3年目になります。2023年度は、『やまもと福祉のまちづくりプラン(第2次5カ年計画)』を策定し、それに基づいた取り組みを始めた年です。年度末の3月には、1年間の取り組みを振り返り、検証し、修正部分があれば訂正をし、見直しをする会議を開催します。特に、重点目標については、それぞれの推進役が中心となって見直しを行い、住民の皆様にとって、安全で安心できる、住みやすいまちにすることを目標として、活動を続けていきます。

コロナ感染者数が減少し、コロナ禍以前の活動が再開されるようになりました。しかし、ゼロになっただけではないので、今後も、油断することなく、感染対策を十分にしながら取り組みをすすめていく必要があります。

昨年役員、地域住民の方々、その他、様々な人たちにご理解とご協

力をいただきました。心よりお礼申し上げます。本年もどうぞよろしくお願ひします。

## ■事務局体制の強化について

23年度は、事務局会議(会長、副会長、会計(事務局長兼務)、総務)、委員長会議(事務局会議メンバーと地域福祉推進委員、各委員会委員長)を立ち上げ、話し合いを行ってきました。事務局員同士の意思疎通を図り、事務局体制を強固にするためです。

委員会活動については、総務委員会、福祉活動委員会、ボランティアバンク運営委員会、広報委員会、福祉のまちづくり委員会、ICT委員会の六つの委員会活動を行っています。

## ■安心ネット山本について

令和5年10月現在、登録者22人、協力員16人です。幹事会、運営委員会の開催、見守り協力員の交流会を実施しています。

2022年から始めた取り組みで、見守り協力店として、店頭が目立つ場所に、ステッカーをはり、見守り活動に協力してもらおうよう依頼をしています。昨年は14から22店舗と増加しました。さらなる取り組みを続けていきます。

## ■山本集会所の運営について

2020年から2022年まで、

耐震工事、コロナ感染症の影響で、利用者が激減し、運営の原資である集会所の使用料が入らず、厳しい運営状況が続いていました。昨年2月1日から4月30日まで、山本地区住民の皆様にご協力をお願いしたところ、多くの方々のご協力をいただきました。

また、QRコードでの呼びかけ、新聞折り込み等、利用者を募る取り組みを続けてきました。

コロナ感染者数が減少したこともあり、少しずつ利用者が増加しつつあります。

山本集会所は山本学区社会福祉協議会の拠点であり、地域コミュニティづくりの活動拠点でもあるので、地域活動に寄与する観点からも必要な集会施設です。多くの方に使用していただきますよう、よろしくお願ひします。

## ■おわりに

日々、山本学区の福祉活動を行っている組織・団体は、住民が安全で安心できる、住みやすいまちにすることを目標としています。

次年度より山本保育園が社協の構成団体として位置付けされます。様々な活動をする中で、顔なじみの関係が地域の中にたくさんできつつあります。そのことを通じて、みんなの力が結集されてできる地

域としての総合力(まとまり)がより強固なものになると思ひます。今現在、山本学区社協の活動は、区社協等からの補助金もありすが、自治会会費の一部を拠出していただくことで賄っています。

山本学区における社会福祉のための活動を維持、発展させていく上で、自治会への新規加入と、既会員の皆様の末長いご協力を、どうぞよろしくお願ひします。

## 春日野入口事故対策

春日野から下りてくる自転車の事故が昨年10月連続して起きました。そのうち2件は登校中の児童との接触事故でしたが、幸い軽症で済みましたが、春日野から下りる時、勾配の急な坂道が続くためスピードが出てしまひます。急ブレーキをかける転んでケガをします。スピードを出さないよう注意を喚起するため、紅白の市松模様黄色いクッションドラムが3個置かれました。





山本学区社会福祉協議会

会長 小堀 昭 男

■はじめに

「ひろしまLMO(広島型地域運営組織)」とは、令和4年(22年)2月、広島市が策定した「広島市地域コミュニティ活性化ビジョン」に基づく、市民主体のまちづくりを推進する「新たな協力体制」によって、地域の活性化に取り組み組織のことです。

役員会での検討を経た後、「LMO」の説明会を、広島市地域起こし推進課、市社協コミュニティ再生課、区社協職員の出席の下、開催しました。23年7月に、「申請書」を提出、8月25日付で広島市の認定を受けました。それを受けて、山本学区全体へ説明をするために、10月25日、「まちづくりプラン」に掲載している山本学区社協の組織図に含まれる全部の長の方々に参加を呼びかけ、広島市地域起こし推進課、市社協コミュニティ再生課、区社協職員に出席していただき、説明を聴く機会をもちました。

山本学区の「LMO」の名称を「やまもとまちづくり委員会」(仮称)とし、加入する組織・団体とは「協定書」を締結しています。

■新たな補助制度

「やまもとまちづくり委員会」

(仮称)への補助として、設立時助成金(拠点の備品整備費、拠点改修費、事務所費などの拠点整備や設立当初の運営に要する経費、上限50万円)のほか、令和5年度(23年度)から運営助成金が交付されます。また、令和6年度(24年度)以降、各種地域団体のこれまでの活動が継続できるよう留意

しながら、様々な部署から交付している補助金について、補助率を統一、一本化した上で交付し、地域の実情に合わせて各種地域団体に柔軟に配分することができ、新たな補助制度が創設されます。(図1参照)

■今後の取り組みについて

「やまもとまちづくり委員会」(仮称)の設立に向けて、規約の作成、役員を選定、取り組み内容・予算の編成等を検討します。取り組み内容ですが、山本学区全体に全部の組織・団体の取り組みが対

LMO:Local Management Organization (地域運営組織)の略

<支援1「ひろしまLMO」設立時助成金>  
「ひろしまLMO」を設立した地域に対し、活動拠点の備品整備などの設立時に必要となる経費を助成します。  
50万円(設立時1回限り) 補助率10/10  
【対象となる経費】  
・備品整備費や拠点改修費といった「ひろしまLMO」の拠点整備に要する経費  
・事務所費(拠点の借上料、光熱水費、電話料金、インターネット接続に係る通信費など)や各種会議開催費といった「ひろしまLMO」設立当初の運営に要する経費

<支援2「ひろしまLMO」運営助成金…毎年度>  
(1) 人件費  
「ひろしまLMO」の継続的・安定的な人材の確保や役員等の負担軽減を図るため、活動拠点に配置する事務局員の雇用などに要する経費を助成します。  
300万円(年度上限額) 補助率10/10  
【主な対象経費】事務局員の給料、交通費など

(2) 活動拠点維持管理・運営費  
「ひろしまLMO」の活動拠点を継続的に運営できるように、施設の借上げなどに要する経費を助成します。  
200万円(年度上限額) 補助率10/10  
【主な対象経費】活動拠点の借上料、光熱水費、電話料金など

(3) 地域課題を解決するための事業費  
「ひろしまLMO」が作成する事業計画に基づく地域課題解決のための事業に要する経費を助成します。  
100万円(年度上限額) 補助率10/10 (新規事業のみではなく、既存事業も対象)

※上記支援1及び2については、広島市社会福祉協議会から「ひろしまLMO」へ交付します。

<支援3 補助金の一本化(一括交付金)…令和6年度導入予定>  
各種地域団体に交付している事業補助金を可能な限り一本化し、補助率を拡充した上で再計算した額を「ひろしまLMO」へ交付し、「ひろしまLMO」から運営団体へ配分してもらう方法を検討しています。その際は、申請・報告様式や手続きを簡素化するとともに、使途の制限についても緩和する予定です。

【現行の補助制度】

| ひろしまLMO 運営助成金(上限) |       | 補助率の拡充(例)(1/2=2/3)       |
|-------------------|-------|--------------------------|
| 人件費               | 300万円 | A事業補助金 + B事業補助金 + C事業補助金 |
| 活動拠点維持管理・運営費      | 200万円 |                          |
| 地域課題を解決するための事業費   | 100万円 |                          |

図1

象です。

- ・防犯活動
- ・防災活動
- ・イベントの充実

敬老フェスティバル・町民運動会・盆踊り大会・とんど焼き、新事業として「やまもと福祉まつり」(仮称)

・みんなのまちの掲示板の作成  
地域の情報を収集し、モニターを拠点に設置して、みんなが観られる地域の掲示板を開設  
最終的には、設立総会で決定します。

■おわりに

「LMO」に対して応募をしている学区社協は、まだ少ない状況です。山本学区社協としては、「まちづくりプラン」を作成したばかりということもあり、プランに従って取り組みを開始しはじめたときに、この「LMO」の募集があり、応募すること、取り組みが充実したものになるという判断をいたしました。

皆様のご理解、ご協力をいただきながら、安全で安心できる、住みやすい山本にするための取り組みをすすめていきたいと思っております。よろしくお願ひします。

「コロナ禍」  
和らぎ

# 復活した 地域の諸行事

新型「コロナ」も5類に分類され  
マスク無しで外出できるようになりました  
さあ出かけましょう

元の  
行事へ  
地行

## 敬老フェスティバル

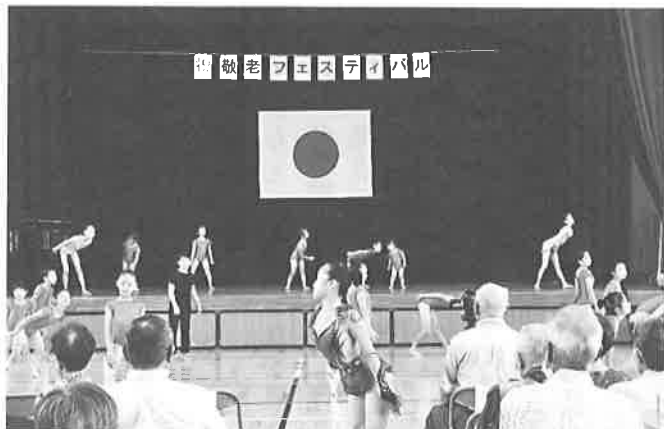
山本学区社会福祉協議会

副会長 藤田 浩

9月16日(土)、山本小学校体育館で4年振りに敬老フェスティバルを開催しました。

学区内75歳以上の方をご招待し、来賓ご臨席のもと式典とアトラクションを催して、会場にお越し下さった179人の方々と一般参加の皆さんとともにお祝いました。

式典では、小堀会長から「4年振りに開催できる「喜び」と「長年社会に貢献された年長者をねぎらい長寿をたたえる」感謝と激励の挨拶があり、続いて山本小学校6年生の黒郷乃愛さん・中田怜奈さん、祇園中学校3年生の田中翔斗さん・山本芽依さんからお祝いの言葉をいただきました。引き続き行われたアトラクションでは、東ベンチャーズのバンド演奏を皮切りにシニアコーラス山本の女声コーラス、向陽新体操クラブ広島教室の子どもたちによる新体操演技



向陽新体操クラブ広島教室の華麗な演技

山本男声合唱団によるコーラスが披露され、最後は広島文化学園大学音楽学科のメンバーによる金管五重奏を会場の皆さんで楽しみました。

招待対象者1536人のうち、出席された方は一割程度でしたが、4年振りの開催で初めて招待状を手に入れ、会場にいられた約70人の方から口ぐちに「楽しかったよ！来年も参加したい」との声をいただきました。今後は会場にお越しの方がもっと

## 町民運動会

山本学区体育協会

会長 谷口正行

第74回山本学区町民運動会を5月14日(日)、山本小学校校庭で学区体育協会・山本小学校・山本幼稚園の共催で4年ぶりに開催しました。新型コロナウイルスが5類に移行して間もなくのことでしたので、午前中のみの実施となりました。

当日は、未明まで雨が降り、学校の先生方、地域役員の皆様方のご協力により会場を整備し、定刻通りに開催することができました。

## 盆踊り大会

山本地区盆踊り大会実行委員会  
実行委員長 谷口正行

8月5日(土)の夕刻、山本小学校校庭で、山本地区盆踊り大会を開催しました。4年ぶりであって、浴衣姿の親子連れや友達同士、正に老若男女が大勢集まりました。「新山本音頭」に始まり、おなじみの盆踊り唄やアニメソング。最後の締めは、きそん音頭でした。

夜店や花火にくじ引きなど多彩な内容で、地域挙げての一大イベントとなりました。皆様のご支援、ご協力に深謝いたします。



盆踊り大会

# ドッチビー大会

大会世話人 尼子 一高

11月19・26日(日)の両日、山本小学校体育館で、ドッチビー大会を4年ぶりに開催しました。ドッチビーとは、柔らかいフリスビーでドッジボールを行うものです。以前は子ども会で行っていましたが、昨年休会になってしまいました。

もう出来ないと思っていたところ、社会福祉協議会の小堀会長より、「まったく活動がなくなってしまうのがもったいない。子どもたちのためにまずは何かしてみよう。なんとかなる」と背中を押され、子どもが大好きな大人たちが集まり、連合自治会の古川会長の協力もいただき開催に至りました。4年ぶりなのでたくさん集まってくれるか心配でしたが、子どもが二日間で約90人、手伝いをしていただいた大人、スポーツ推進員を含めると総勢150人が集まりました。

今までのドッチビー大会は、当日までに何回も会議を重ね、準備万全で臨んでいました。しかし今回は、会議は一度だけ

で大まかな流れだけを決め、最低限の準備だけで開催しました。当日だけの大人のお手伝いに参加して下さった保護者の皆様にも支えられ、いい雰囲気でした。子どもたちが、元気がいいの笑顔で「楽しい」と言ってくれた事です。この笑顔を見て「やって良かった！」と心から思いました。

これを機に今後も大会を開催し、倍の人数が集まるぐらい盛大にしたいと思っております。この度は、たくさんの方々の協力で開催することが出来ました。ありがとうございます。

練習風景



試合風景

# 山本学区 自主防災アプリ

山本学区自主防災会連合会  
青木 雄 司

山本学区自主防災会連合会では、山本学区の全住民の皆様にご案内の防災情報をお届けする仕組み「みんなの自主防」というホームページとアプリの実証実験を昨年9月から開始しました。

独自に設置した防災カメラによる坪川(6丁目)の様子や、山本観測所の雨量計の値、気象警報や警戒レベルなど、学区内と周辺の情報を簡単に確認することができます。今後100年間は温暖化の影響で豪雨災害の激甚化が予想されています。未曾有の災害が発生しうる前提で備え、命を守る情報の一つとしてお役立て下さい。

現在、内容向上のため、ホームページ上でアンケートを実施中です。カメラ追加等、皆様のご意見・ご要望をお寄せください。

みんなの

**自主防**

アクセスはQRコード読み込みまたは「みんなの自主防」で検索

# 活動拠点活性化事業

山本学区社会福祉協議会  
会長 小堀 昭 男

地区社協活動拠点活性化事業とは、23年4月から相談窓口を社協事務局に開設し、相談を受け、場合によっては関係機関とのつなぎをする事業です。現在、山本集会所内にある山本学区社協事務所をその場所としています。23年8月まで、ボランティアバンク運営委員会で取り組んできた剪定、草刈り、車いすの貸し出し等の相談と、この事業の相談を分けて取り組んできましたが、23年9月から、二つの相談窓口を統合し、各種の相談を受け付けるようにしました。相談受付日時は、毎週、水・木・金曜日、午前9時半から11時半までです。山本学区社協役員、民生委員等が一人体制で待機しています。これまでにあった相談内容は、車いすの貸し出し、敬老フェスティバル、百歳体操、いきいきサロン、山本集会所の使用等についてのものです。

気軽に、連絡してください。集会所に来ていただいてもいいです。  
082-1871-8422

山本地区子育てサークル

### ふれあい運動会

山本地区子育てサークル  
OG(山本ママこねくと)

渡 辺 菜 穂

日頃より地域の方々のご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

山本地区子育てサークル「のんたんランド」は、入園前の0〜3歳児の親子15名前後で、月2回ほど祇園西公民館で活動しています。

以前は、1歳児・2歳児・3歳児と年齢で分かれて活動していましたが、現在は全年齢を対象としています。毎年秋に開催している『ふれあい運動会』、今年度はサークル出身の母親たち(OG)が協力し、計画や準備を担当しました。当日は、山本地区社会福祉協議会の役員のみなさんをはじめ、地域の方々にも参加していただきました。

のんたんランドの皆さんからも「親子共にとっても楽しませてもらい、良い思い出になりました」と感想を頂いています。サークルメンバーだけではなく、一般参加の親子さん、地域の方々、多くのおみなさんと楽しい時間を一緒に過ごす機会をもつことができ、感謝の気持ちでいっぱいです。

昨今はコミュニティに溢れ、そしてそのコミュニティの選択もさまざまです。誰でもSNSで繋がれるととても便利で素敵な時代、そんな時代の中、のんたんランドもさまざまな形に変化し、対応できるコミュニティに変化するのではないかと考えています。地域の中で共生し、親子で素敵な時間を過ごすことへのサポートを積極的に考えていきたいなと思います。



ふれあい運動会

### 全国民生委員児童委員大会 広島で開催される

山本地区民生委員児童委員協議会

会長 田 村 英 明

昨年の11月21・22日の2日間、第92回全国民生委員児童委員大会が広島で開催されました。広島での開催

は28年ぶり、全国から3262人が参集しました。

1日目のオープニングは、山陽高校和太鼓部の演奏に始まり、式典、表彰、映画監督・信友直子氏の特別講義がありました。大会宣言、次期開催地・宮崎県の挨拶があり、広島市消防音楽隊の演奏で式典プログラムは終了しました。

2日目の研修は、高齢者が安心して暮らせる地域づくり、障がい者が生活しやすい地域づくり、災害に備える地域ぐるみの体制づくりなど、九つの会場で活動交流集会・シンポジウムが行われました。

全国の民生委員児童委員の代表者等が一堂に会し、各地の事例発表に触れる中で、今後の活動の一層の充実と各委員が活動について考える契機となる大変有意義な研修大会でした。



全国民生委員児童委員大会

### 表彰・受章おめでとうございます

瑞宝単光章受章 谷口正行

広島市社会福祉協議会

- 功労者表彰 小堀昭男
- 功労者表彰 伊藤博明
- 功労者表彰 前辻博文
- 功労者表彰 山本公子

### ご協力ありがとうございました

#### 献血

令和5年12月2日(土)、山本公衛協、山本社協、広島北ライオンズクラブの共催による「献血助け合い運動」が実施され、75人の方の参加を頂きました。

#### 町内美化ボランティア活動

令和5年12月2日(土)、青少年健全育成連絡協議会主催の美化活動を総勢300人の参加で、6コースに分かれてごみを収集しました。

#### 年末警戒統一パトロール

令和5年12月17日(日)、防犯組合主催の年末警戒統一パトロールを地域の皆様と4コースに分かれて巡回しました。